

ぬけがらの見分け方

※ぬけがらの写真は、ほぼ実際の大きさ

写真よりもぬけがらのほうが大きいかわりに同じくらい

① からだの大きさ

ここにぬけがらをおいてください



2.5cm

写真よりもぬけがらのほうが小さい

② からだは丸くて泥だらけですか？

泥だらけ

泥だらけではない (次のページへ)

1番多くぬけがらが見つかる

触角は節が7つ
毛が多い
節は太め

「アフラゼミ」
触角の付け根から3番目の節は2番目より長い
おでこ(目と目の間・人間の鼻の頭のあたり)は濃い茶色

アフラゼミとミンミンゼミを見分けるには
触覚・おでこをよ〜く確認してください！

触角は節が7つ
毛が少ない
節は細め

「ミンミンゼミ」
触角の付け根から3番目の節は2番目と同じくらいの長さ
おでこ(目と目の間・人間の鼻の頭のあたり)が、濃くない

でっぱりがある
ひとめで分かるほど、他の種類よりも大きい

「クマゼミ」
触角は節が8つで、毛が少ない


小さく丸い
全身が泥まみれ

「ニイニイゼミ」

～成虫の姿・鳴き声～

セミは、幼虫の間、地中で木の根の汁を吸って何年か過ごします。時期が来ると、地表に出て成虫になります。鳴くのはオスだけで、メスを呼ぶために大きな声で鳴いています。

アブラゼミ	ミンミンゼミ	ニイニイゼミ
 <p>1番よく見られるセミで、羽が茶色い。鳴き声が、揚げ物の油の音に似ている。</p> <p>鳴き声：ジリジリジリ</p>	 <p>鳴き声が大きい。町田では、まぢでも鳴き声が聞こえる。(西日本では山にいる)</p> <p>鳴き声：ミーンミンミンミー</p>	 <p>梅雨明け頃からチ——と平坦な声で鳴く。樹皮と見分けがつきにくい模様。</p> <p>鳴き声：チ——</p>
ヒグラシ	ツクツクボウシ	クマゼミ
 <p>朝夕の涼しい時間に鳴く。情緒あふれる鳴き声のファンも多い。</p> <p>鳴き声：カナカナ</p>	 <p>夏の後半に、独特のリズムで鳴く。ヒグラシと比べて灰色っぽい色をしている。</p> <p>鳴き声：ツクツクホーシ</p>	 <p>もとは西日本のセミだが、近年町田でも鳴き声は聞こえる。2013年に市の南部で調べた際、ぬけがらがほとんど見つからなかった。</p> <p>鳴き声：シャンシャンシャン・・・</p>

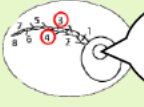


「ツクツクボウシ」


からだはうす茶色で、つやがない

ヒグラシと比べると、全体的に平べったい

触覚の節は8つで、細く、毛が少ない



3番目の節は
4番目より長い




「ヒグラシ」

からだは茶色で、つやがある

ツクツクボウシと比べると、全体的に丸い

触覚の節は8つで、太く、毛が多い



4番目の節は
3番目より長い